

公益財団法人 JKA 競輪補助事業による

「2026年度 福祉機器の整備 補助事業」に関する自己評価について

補助事業に係る自己評価（1回目）を行いましたので、下記のとおりご報告します。

評価委員会開催日時：2026年 8月11日（火）16：00から（スタッフ会議内）

場 所：障害者支援施設みらい 2階集会室

評価委員参加者：施設長 鳥潟 充俊

サービス管理責任者課長 石垣 友也

サービス管理責任者主任 金子 義孝

生活支援員主任 浅香 豊

生活支援員主任 鈴木 輝美

看護師 上原 広美 計6名

施設長より、事業内容及び達成状況に関して報告し、評価基準に基づいて採点を行った。

（最高点は5点）

1. 事業内容（実施計画・体制）・・・4点

申請に伴い、複数メーカーの特殊浴槽の見積りを徴収し機種選定した。補助金決定後は導入機器の再検討を行い、複数業者より見積りを徴収し決定した。機械浴槽の発注、契約から納品・検収及びメーカーによる取扱説明は2026年7月16日に完了し、当日参加できなかった職員については、参加した職員による伝達講習を行った。

2. 達成目標（事業の実施結果）・・・4点

当初は2026年7月下旬から8月上旬を予定していたが、見積りの徴収及び発注がスムーズに進み、納品・検収が2026年7月16日となったことで、早期の更新が可能となった。

達成目標（事業の成果・波及）・・・3点

特殊浴槽の利用が必要な利用者が2026年7月17日現在で45名程度おり、週2回の入浴で、更新前は1日30名程度であったが、更新後は1日40名程度が特殊浴槽を利用することが出来ている。

（40名のうち25名程度が更新機器に入浴している）

3. 情報発信（事業の実施結果）・・・3 点

2026年8月10日付けで法人広報紙「みちくさ」の号外版にて補助金事業の記事と写真を掲載し、2026年8月23日に開催させた保護者会に参加された家族に15部配布し、不参加だった保護者については郵送した。（60部程度）

利用者についてはA3版に拡大した法人広報紙「みちくさ」の号外版を事務所前及び各階掲示板に掲示しました。

また、8月10日に法人ホームページ内に上記の法人広報紙「みちくさ」の号外版を掲載した。

4. 情報発信（競輪・オートレース補助金による事業であること）・・・3 点

法人ホームページによる情報発信時には、常に公益財団法人 JKA による機械振興補助事業であることを明示した。

5. 自己評価の体制・・・4 点

予定通り2026年8月11日に担当職員が集まり、評価委員会を開催し、自己評価を行った。

6. 総合評価・・・3 点

予定よりも早く納品・検収ができ、早期に使用開始できたことです。また、ストレッチャーの台数が増加したことにより、特殊浴槽で対応できる利用者数が増加したことにより、一般浴槽で対応する人数が減少し、介護職員にかかる負担が軽減された。

課題としては、職員が操作に慣れておらず、現段階では目標を達成できていないが、今後は目標の達成に近づけるように努力する。また、利用者からの評価や感想を十分にフィードバックできていないため、今後はアンケート等を実施し、より良いサービス提供を出来るように努める。